

戸田建設「土木の日」技術研究所見学会を開催

－液状化の再現実験などを見学・体験－

戸田建設(株)(社長:井上舜三)は、「土木の日」にちなんで、11月17日に土木学会関東支部との共催で、つくば市立沼崎小学校5年生の児童105名を技術研究所(茨城県つくば市)に招き、見学会を開催しました。また、見学会は日本建設業連合会関東支部の「市民現場見学会」も兼ねました。

見学会冒頭では、戸田建設土木工事技術部長多田より、貯水源から蛇口までの上水道供給を例に市民生活と土木の関わりを挙げ、「土木の仕事は、地震や洪水などの自然災害から、私たちの命や財産を守っています。皆さんにも土木に興味を抱いて頂いたら嬉しいです」と土木の役割と魅力を紹介し、続いて技術管理課長河野が、土木の日の由来について説明しました。

その後、3班に分かれて当社の施設を見学しました。施設見学では、「騒音制御装置」・「液状化現象の実験」・「放射能のゴミ捨て場の安全性を調べる取り組み」・「シールド裏込材の混合実験」・「コンクリートの圧縮強度試験」・「コンクリートの耐久性向上に使用する剥落防止方法」を見学してもらいました。

「騒音制御装置」では、建設機械のエンジンから出る低音が小さくなることを不思議そうに体験し、「液状化現象の実験」では、地震でマンホールが浮き上がる被害の原因について理解を深めました。「放射能のゴミ捨て場の安全性を調べる取り組み」では、放射能のゴミを安全に処分する方法を学び、「裏込材の混合実験」では、液体がゲル化する実験を面白そうに体験しました。「コンクリートの耐久性向上に使用する剥落防止方法」では、構造物を長持ちさせる方法を学び、「コンクリートの圧縮強度試験」では、高強度コンクリートが破壊する音にびっくりし、実験で壊れたコンクリート片をお土産に持ち帰る児童が沢山いました。

戸田建設は、子どもらに「土木」に関心を持ってもらうため、今後もこのような機会に「土木」と市民生活との深い関わり合いについて伝えていきます。



写真1 実験希望に、勢いよく立候補する児童たち



写真2 研究所前にてクラス毎に記念撮影